

## 受託中止のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
 さて、昨年、information No.2020-011 で受託中止予定とお知らせしていました現行JSCC法のALPとLDを受託中止させていただきたくご案内いたします。  
 先生方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、弊社事情をご賢察のうえ、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

■ 受託中止日 2021年3月31日(水)をもって受託中止

■ 受託中止項目

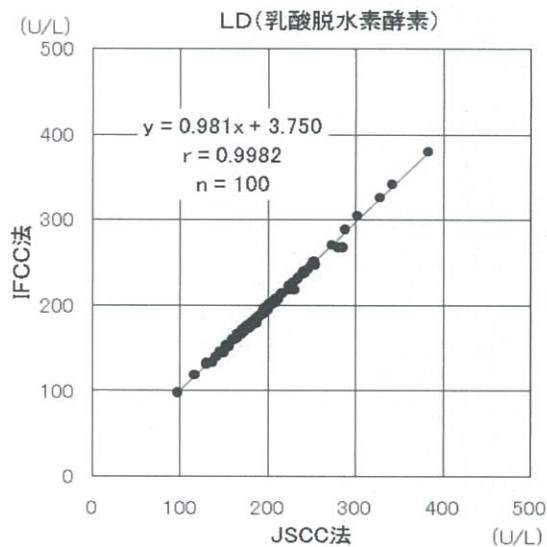
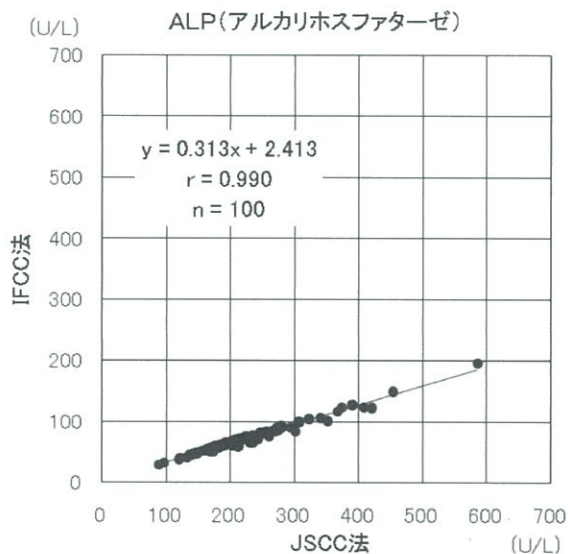
項目コード	検査項目	中止理由	備考
1010	ALP(アルカリホスファターゼ) 〔JSCC法〕	代替項目(5143)ALP/IFCC	・日本臨床化学会の学会方針のため ・代替項目の検査要項は下表、現行法との相関などは裏面をご参照ください。
1014	LD(乳酸脱水素酵素) 〔JSCC法〕	代替項目(5144)LD/IFCC	

▼ 代替項目検査要項

項目コード	検査項目 JLAC10	検体 必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値 単位	所要 日数	実施料 判断料	検査 案内	備考
5143	ALP/IFCC (アルカリホスファターゼ) 3B070-0000-023-275	血清 0.5mL	A1-1 冷蔵	IFCC 標準化 対応法	38~113 U/L	1-2	11 生化 I	P8	※
5144	LD/IFCC (乳酸脱水素酵素) 3B050-0000-023-279	血清 0.5mL	A1-1 冷蔵	IFCC 標準化 対応法	115~245 U/L	1-2	11 生化 I	P8	※

※4月1日受託分より、生化学報告書、至急報告書に記載のALP、LDは新法での表記(ご報告)に変更となります。

▼参考 IFCC法 と JSCC法 の相関図



(自社検討データ)

【 IFCC法に関する補足事項 】

1. 一般社団法人 日本臨床化学会の資料には以下のことが記されています。参考情報としてご案内します。

(1)ALPIについて

○測定値が現行(JSCC法)の 1/3 程度の数値になります。

○変更前後の値の換算には限界があります。IFCC法に変更することで血液型B,O型では小腸型ALPを含む検体で低めになり、逆に妊婦では胎盤型ALPが増加することにより高めに測定されます。

(参考)

・JSCC法測定値からIFCC法測定値に換算: 0.35 倍

・IFCC法測定値からJSCC法測定値に換算: 2.84 倍

○ALPアイソザイム試薬についてもIFCC法に対応した新しい処方のもので発売されますので、そのIFCC法に対応した試薬での測定が必要です。

(2)LDについて

○LD5 優位検体では現行のJSCC法に対して低めの活性になります。

(LD5 が 50%の症例では測定値の差は 20%未満)

○JSCC 法測定値から IFCC 法測定値への換算はせずそのままの測定値を使ってください。